

〈満月と繋がる?〉

昨夜畑で満月かと思まごうきれいな月を見たが実際は今日だった。夕方雲が出ていたので、多分見られないだろうと諦めていた。19時のニュースでも「雲が多いでしょう」と言っていたので、それを信じていた。寝る前に夜風に当たろうと外に出たら・・・、なんときれいな満月が出ているではないか。すぐにカメラを持ち出して“ピンクムーン”を撮る。ピンクムーンとは芝桜が咲く時期なのでそう呼ぶらしい。



お月見は、人間だけでなく植物もするだろうと、葉っぱ目線でも撮ってみた。昼間は盛んに働いている葉っぱも、夜は静かに呼吸をしているだけになる。光合成工場はお休みで、月を眺めながらきつと静かな夜を過ごしているのだろう（と勝手に想像する）。太陽は直視できないが、月はいつまでも見ていられるのでいつの間にか繋がっているような錯覚を覚える。暑くも寒くもなく今夜の月は包み込むような優しさであまねく地上を照らしている。闇と光の間を行き来する月の光はその淡さゆえにホッとできるのかもしれない。

